

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【土合小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)言語や数理の構造を正確に捉え、学習の基盤として正しく活用する資質・能力 (2)情報を多角的に捉え、目的や根拠を明確にして表現する資質・能力
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)「振り返り」と「既習事項」の関連付けを行う時間の設定と、書き込み式ドリルやドリルパーク(ICT)、習熟度別プリント等を活用した「反復・習熟」の時間の実施。【各単元の中で1回以上】 (2)自分の考えを表現する際に、「答え」だけでなく「理由(根拠)」をセットにした話す・書くの習慣化と、共同編集等を活用した協働的な学びの実施。【各単元の中で1回以上】

ざらざら(構円)

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		調査の振り返り(4月)
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		結果から考えられる児童生徒の実態(7月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		さいたま市学習状況調査(5月)
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		結果から考えられる児童生徒の実態

- ①学校全体での取組
- ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用
- ③中間評価を経た取組
- ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①調査結果分析(管理職・学年主任等) ②結果分析(学年・教科担当) ③児童生徒の実態把握 ④夏期職員研修等
↓		
学力向上策の 見直し		中間評価(9月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

教育研究所